

平成30年度10月号 [10月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

地域で活躍できる若者に

校長 安部正幸

去る7日(日) **第12回本蓮祭り**が開催され、本校から生徒会、野球部、有志、合わせて男女39名の生徒が神輿の担ぎ手として参加しました。当日は多くの差し入れをいただき、また沿道の方達から温かい声をかけていただきました。お陰様で真夏日となる暑さの中でしたが、蓮沼公園から東本郷氷川神社まで、無事に神輿を運ぶことができました。神社での最後の場面では生徒だけで神輿を担がせていただきました。この貴重な体験を通して生徒たちは、地域の人たちの温かさと日本の伝統文化の素晴らしさを十分に知ることができたのではないかと思います。

災害が多かった年だから思うこと

今年各地で多くの災害が発生しました。その度に思ったことは地域住民同士の結びつきの大切さでした。近年、地域の結びつきが希薄になっていると言われていています。何も災害が起こらなければそれでも生きていけるかもしれませんが、しかし、ひとたび大きな災害に見舞われたとき、一人や一家族では心細いものです。そのような時に力になってくれるのは、近所の人たちであり、自治会の人たちだと思います。また、そのようなとき最も力になるのは若者の力ではないかと思います。昨年、東中が避難所となった時のことを想定して、町会長さんたちと防災会議を持ったことがありました。その時に問題になったのは、避難所を開設した時、町会の名簿に載っていない人(町会に未加入の人)が避難を求めてきたときに、受付でどう対応したらよいかということでした。町会長さんたちの話では、それほどに自治会に加入していない人が増加しているとのことでした。

次の時代の地域を担う大人に

今回の祭りでは、各支部の皆さんが中学生に対してとても丁寧に神輿の担ぎ方を指導して下さっていました。また温かく見守っていただき、時には肩を貸して下さいました。「2年後は高校生だけど、高校生になってもまた来たい。」と言っていた生徒がいました。今回貴重な体験をしたこれらの生徒たちが、大人になった時、今度は逆にその時の後輩たちを指導する立場で、再びこの場に来てくれたら、今の校長としてこれほどうれしいことはありません。その時に私は校長を引退していますが、一人の老人としてこっそりと遠目ながらにその姿を見に来たいと思っています。

さて川口市は来年度の入学生から**学校選択制を廃止**します。これまで、通う学校を自由に選んでいたのが、子どもたちは原則として、以前のようにその学区内の学校に通うことになります。これには賛否両論ありました。しかし、地域の結びつきの希薄化が叫ばれている今、『地域の子どもたちは地域で育てる』さらに『その保護者も地域に根付く』という点で見れば、私はそれで良かったのではないかと思います。